日本語教育能力検定試験CBT画面・操作説明

① 全体の流れ

② 試験画面

③ 各画面と基本操作

④ 便利な機能

※この動画の複製、引用、無断転載、改変、二次利用等を固く禁じます。

日本語教育能力検定試験 CBT

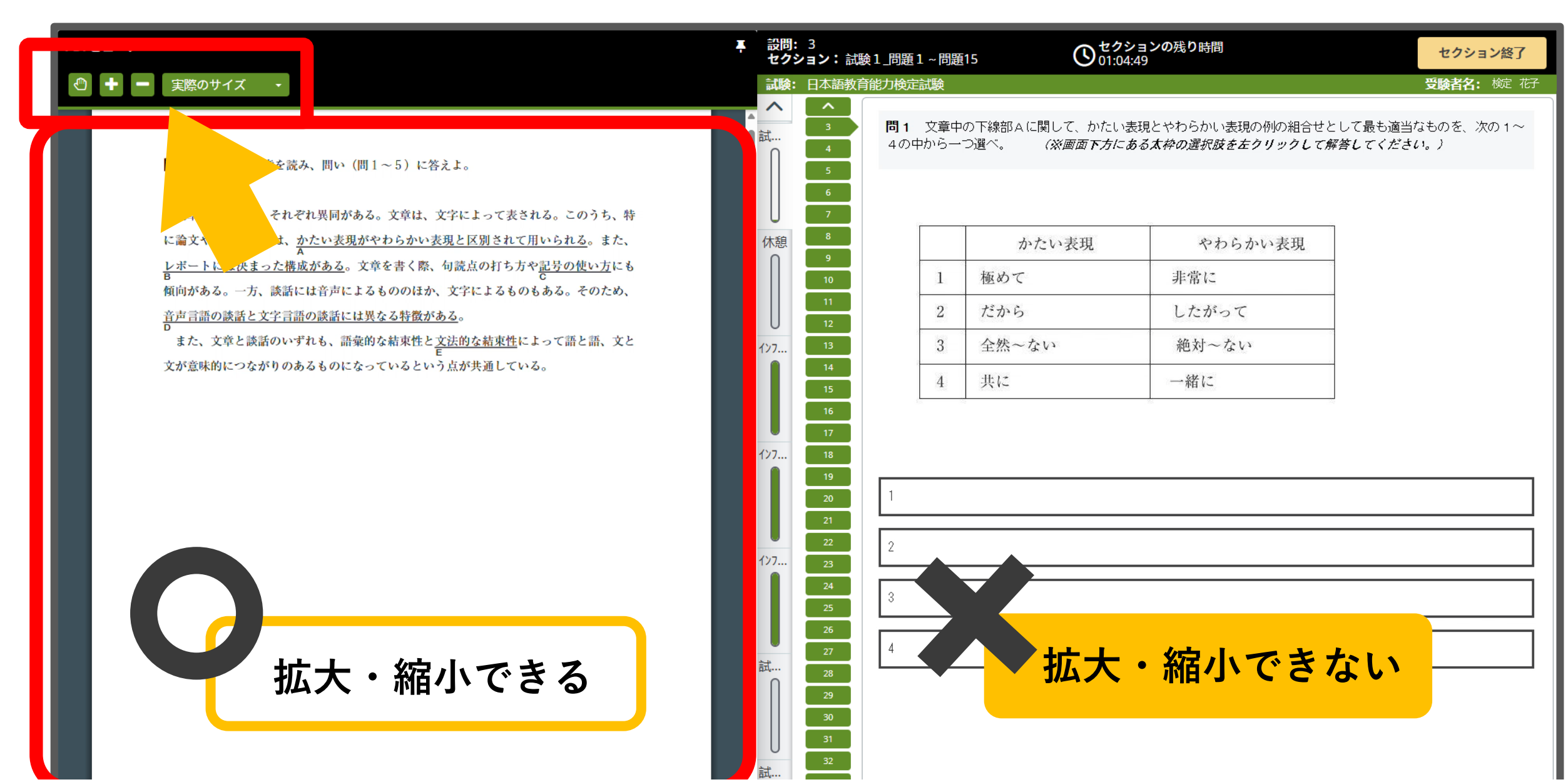
④ 便利な機能

※この動画の画面デザイン、問題数、形式等は、実際の試験とは異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

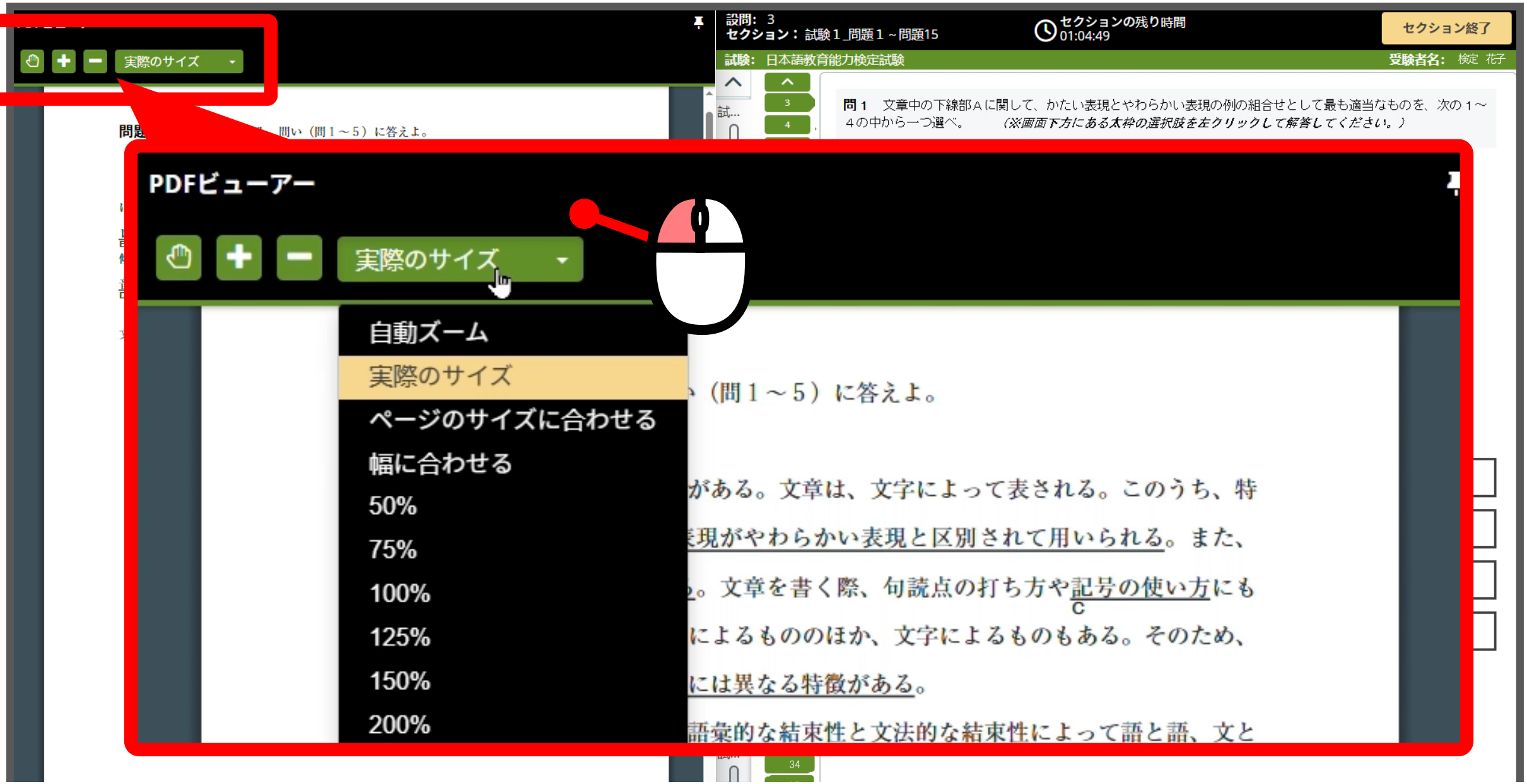
④ 便利な機能

ページの拡大・縮小

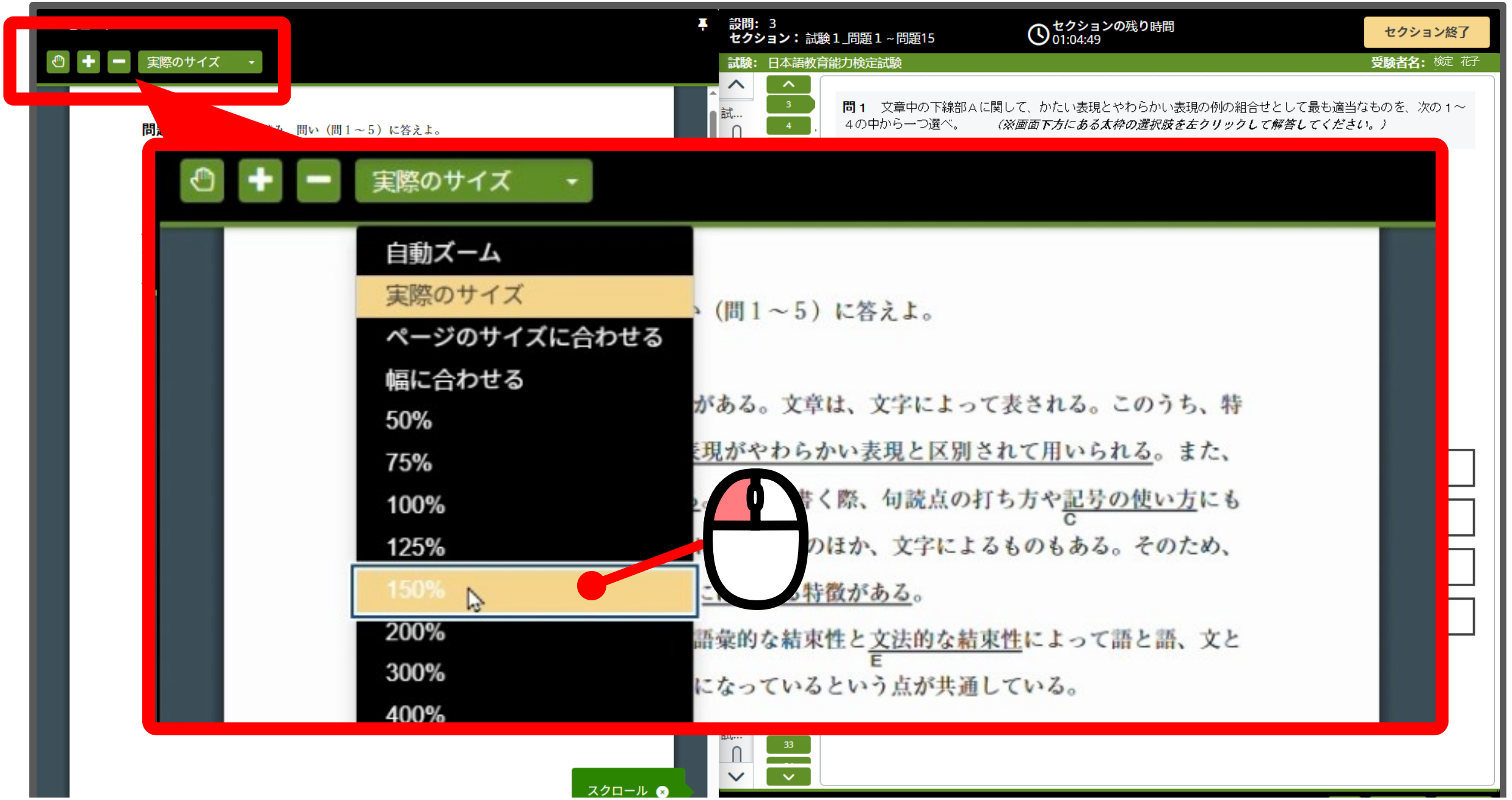
※試験１、試験２共通



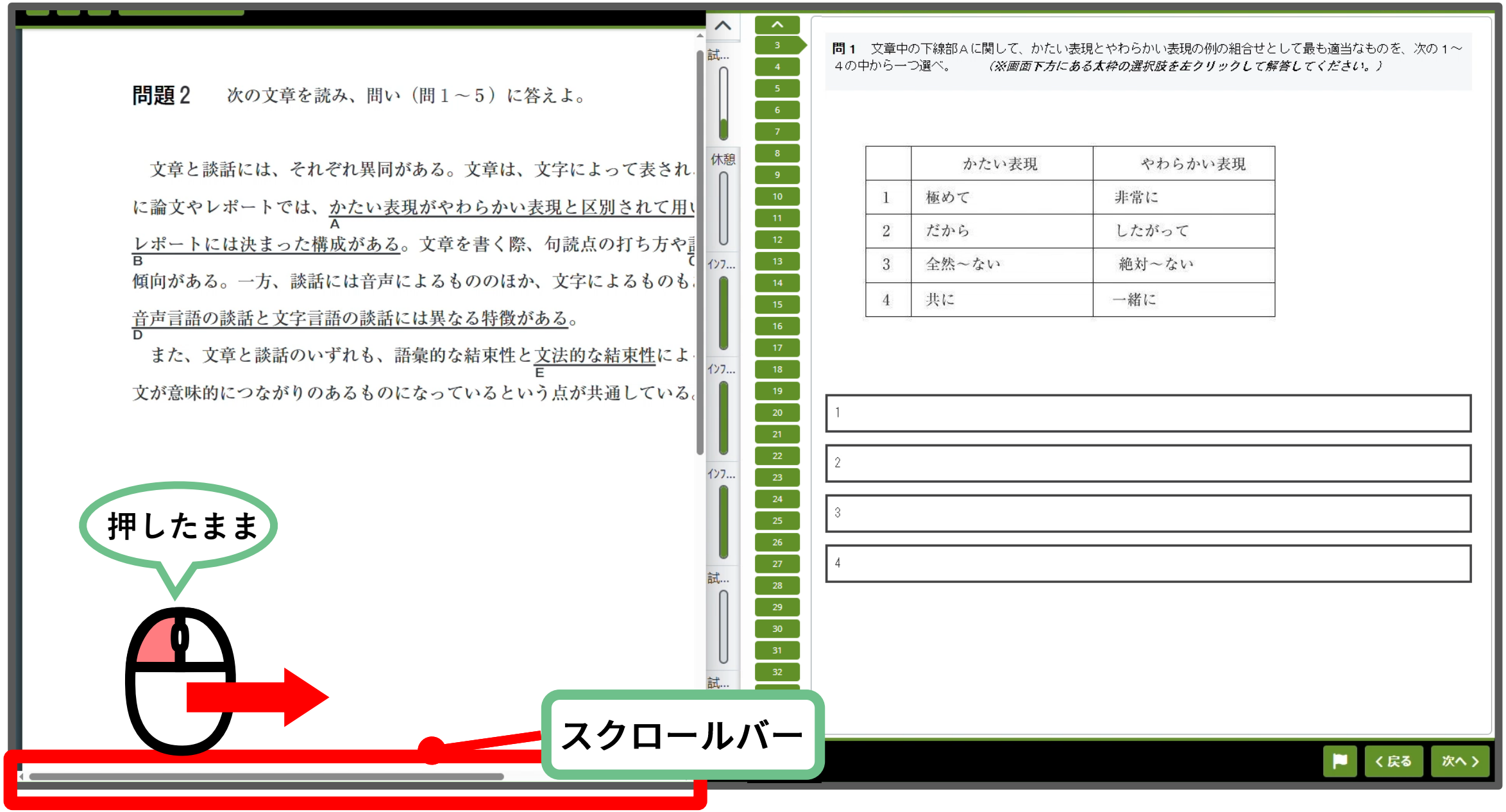
左側の画面は、拡大と縮小ができます。右側の画面はできません。拡大と縮小は、左側の画面上部のボタンで変えることができます。



「実際のサイズ▼」ボタンにカーソル(⇖)を合わせて左クリックをすると、表示サイズのメニューが表示されます。



表示したい画面サイズ部分にカーソル(↖)を合わせて左クリックすると大きさが変わります。



拡大したあと、全て表示されないときは、画面下部分の横向きのスクロールバーにカーソル(↖)を合わせ、マウスの左ボタンを押したまま動かすと位置が調節できます。

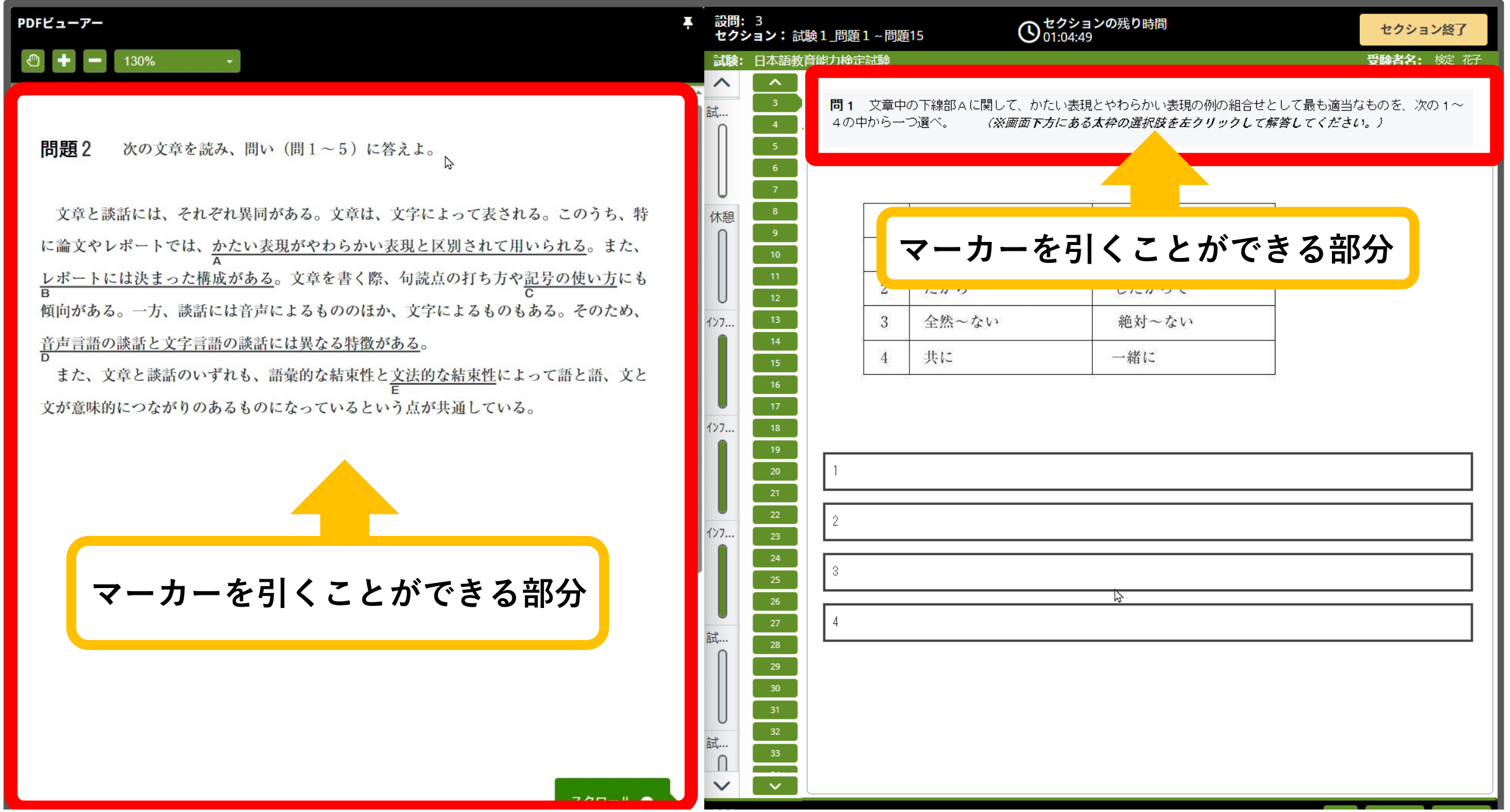


「＋」ボタンと「－」ボタンにカーソル(↖)を合わせて左クリックしても、拡大・縮小できます。左クリックするたびに左画面が拡大・縮小されます。

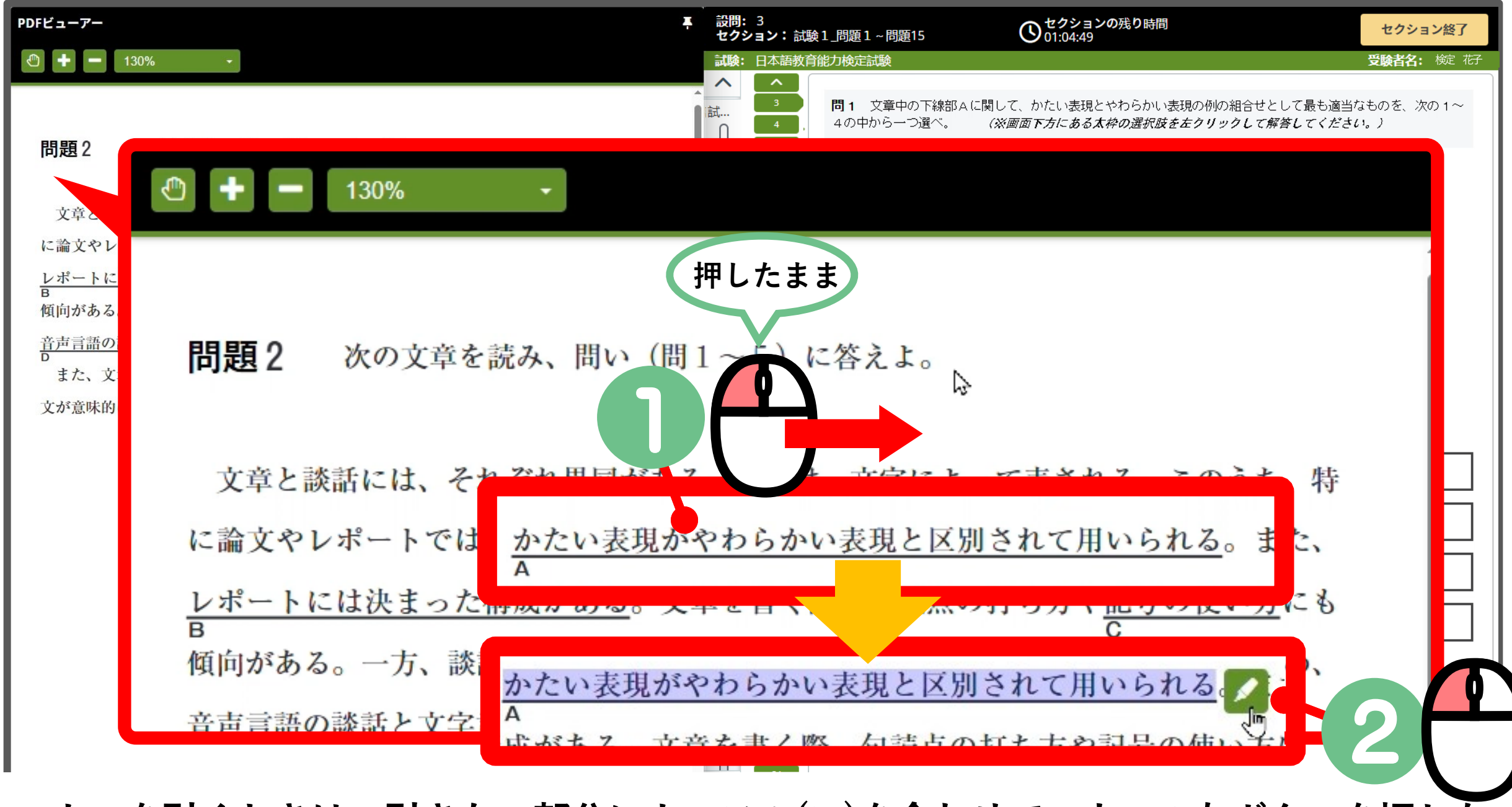
④ 便利な機能

マーカーを付ける

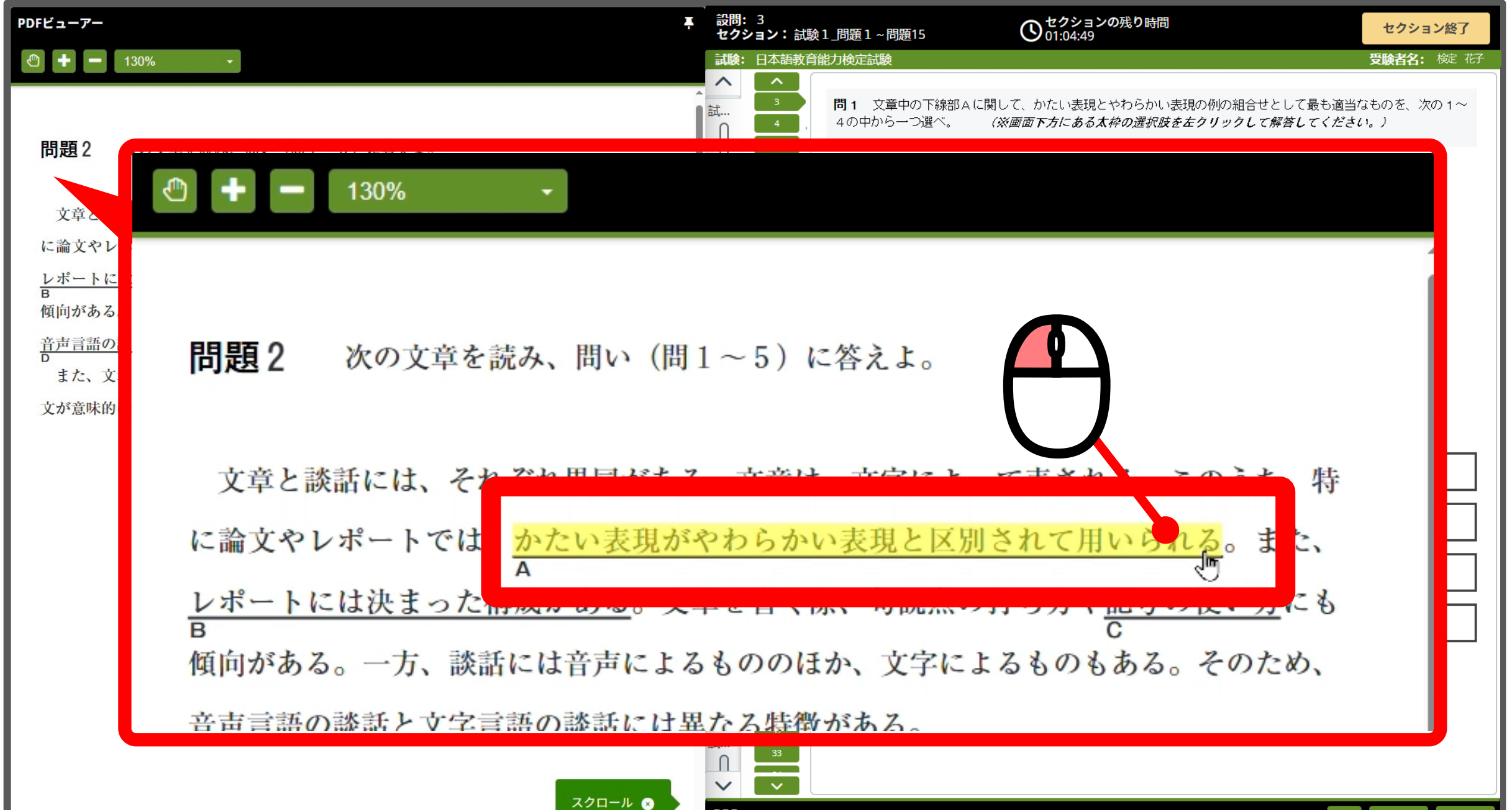
※試験１、試験２共通



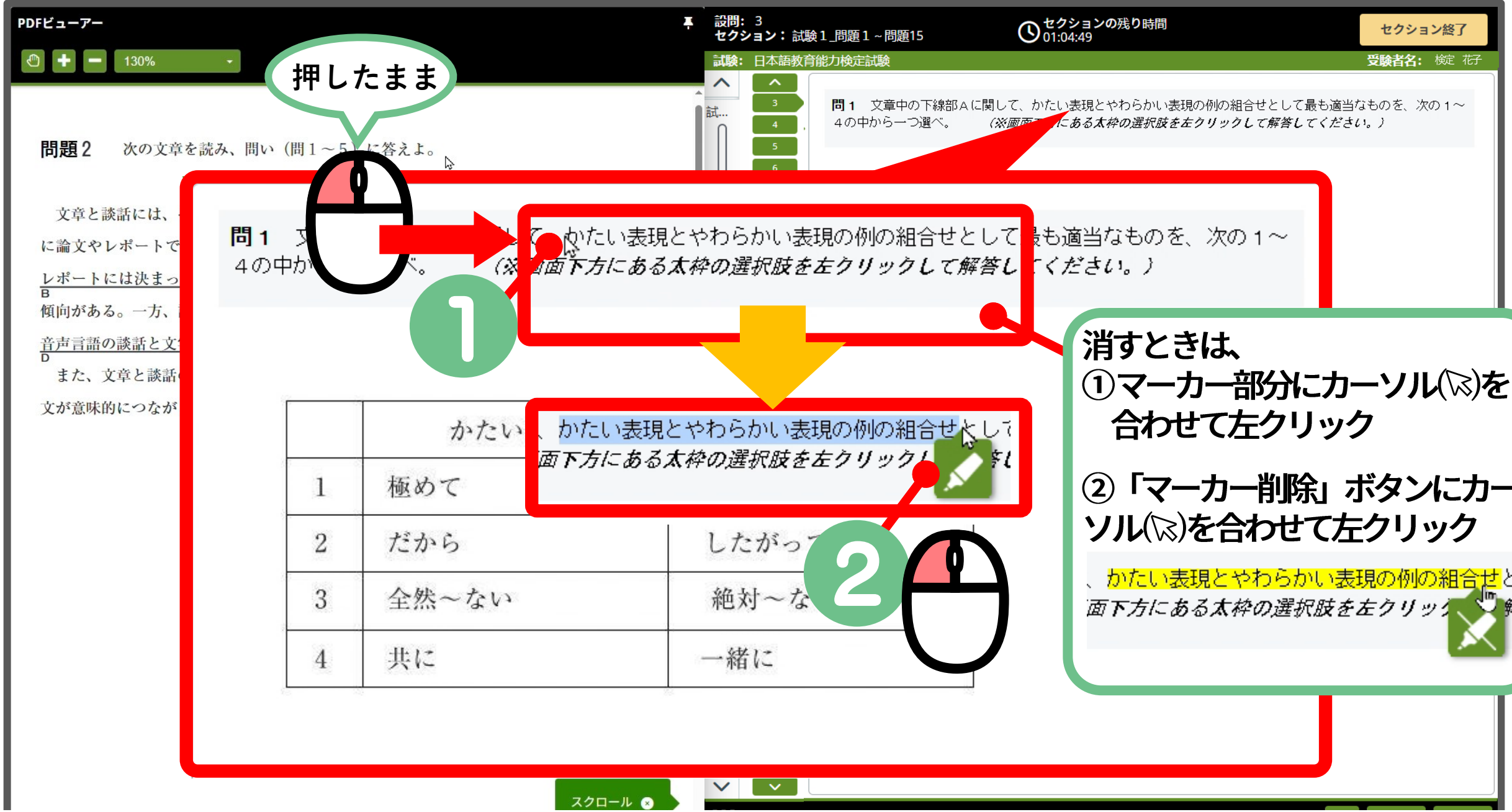
左側の画面と、右側の小問設問文の部分にはマーカーを引くことができます。



マーカーを引くときは、引きたい部分にカーソル(↖)を合わせてマウスの左ボタンを押したまま動かし、マーカーボタンを左クリックしてください。



マーカーを消すときは、マーカー部分にカーソル(↖)を合わせて左クリックしてください。



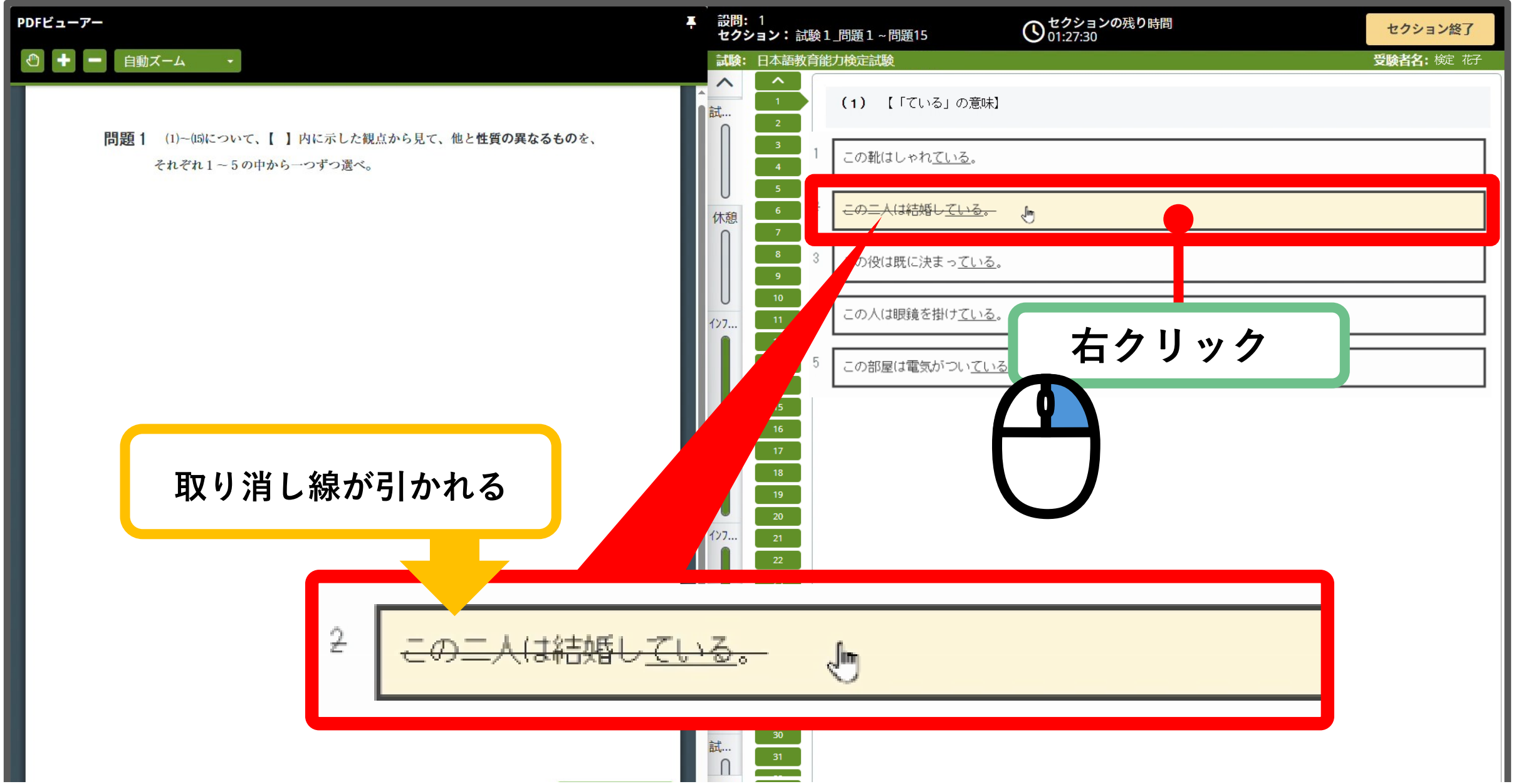
1	極めて	
2	だから	したがって
3	全然～ない	絶対～ない
4	共に	一緒に

画面右側の「小問設問文」部分のマーカーを引く場合も同様に操作をしてください。

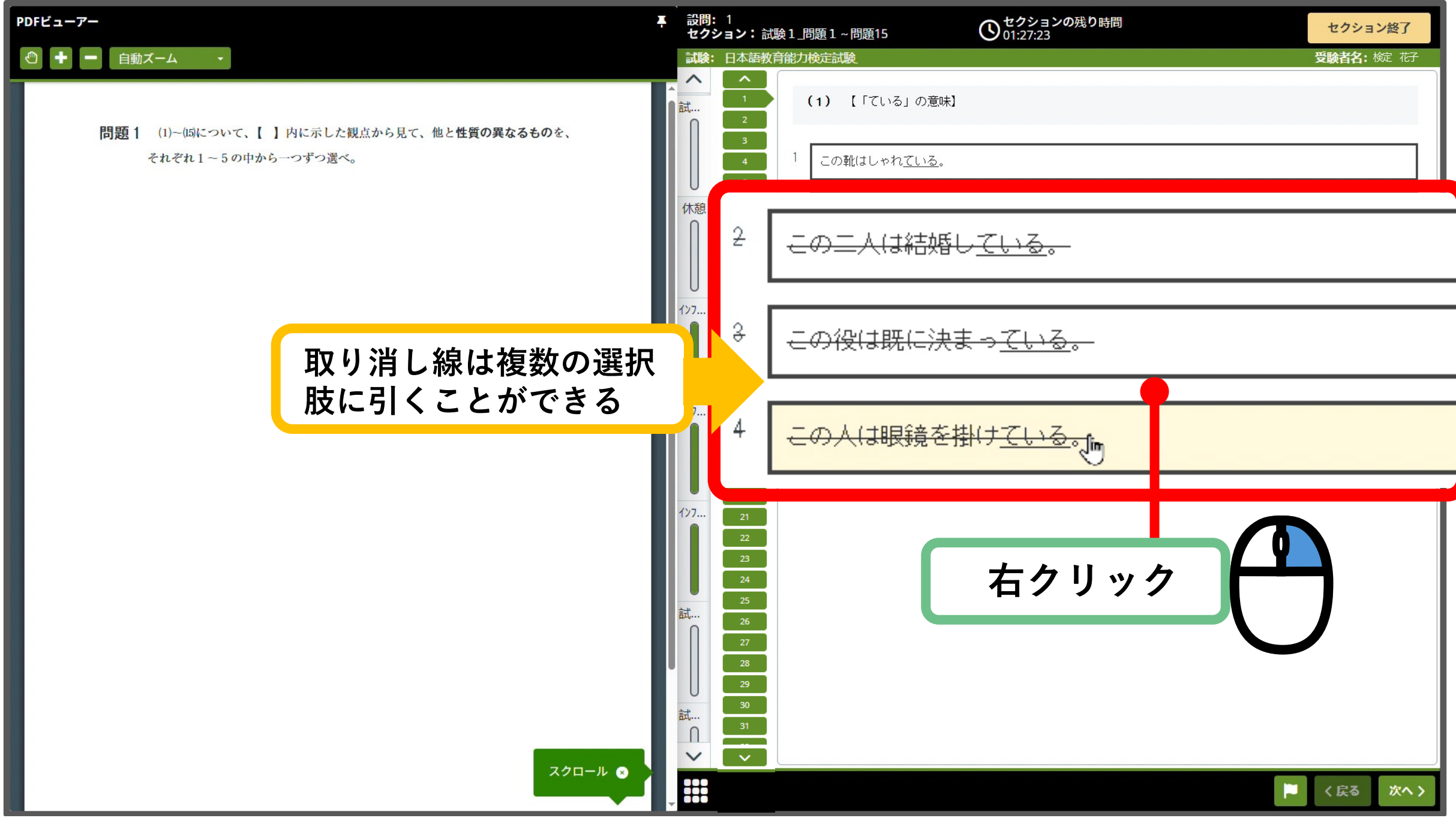
④ 便利な機能

選択肢に取り消し線を付ける

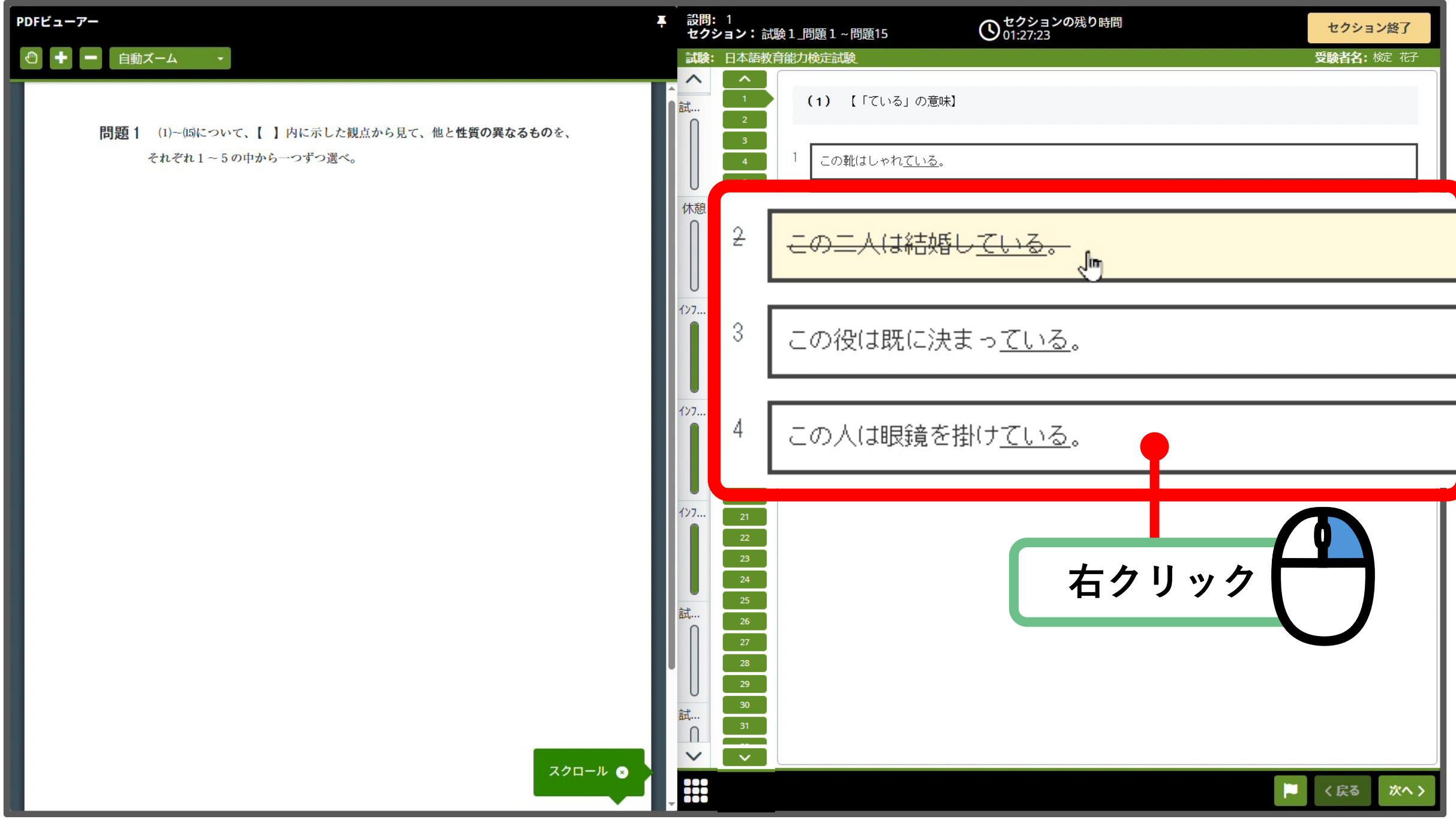
※試験１、試験２共通



問題を解くとき、選択肢に「取り消し線」を引くことができます。選択肢にカーソル(↖)を合わせて右クリックしてください。



「取り消し線」は、複数の選択肢に引くことができます。



取り消し線を消したいときは、選択肢をもう一度右クリックしてください。

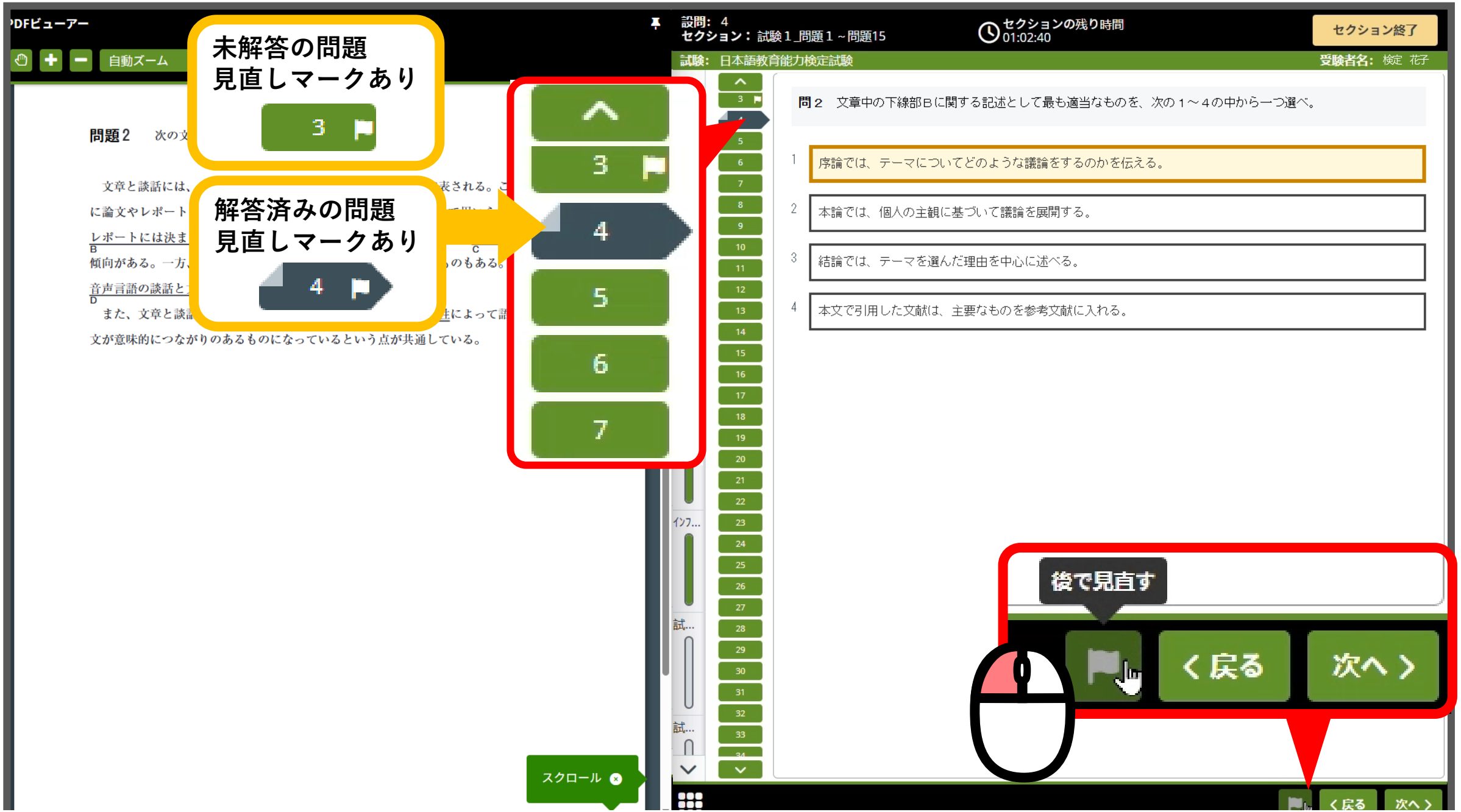
④ 便利な機能

あとで見直す問題に印を付ける

※試験１、試験２問題７以降 共通
※試験２聴解の問題（問題１～６）はできません。



あとで見直しをしたい問題には、設問番号ボタンに「旗 」を付けることができます。

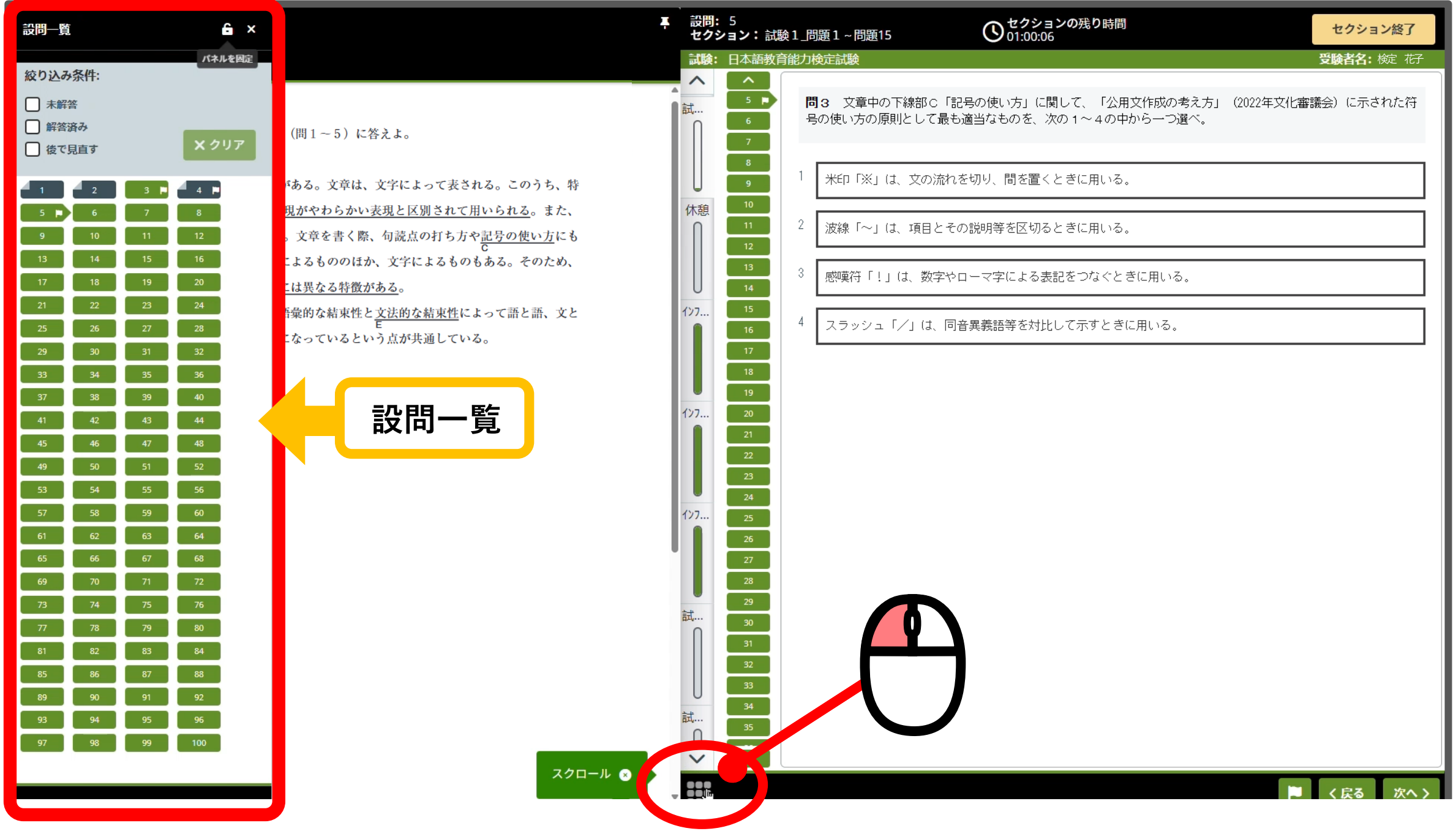


見直しの「旗 🚩」は、未解答の問題でも解答済みの問題でも同様に付けることができます。

④ 便利な機能

「設問一覧」を使う

※試験１、試験２問題７以降 共通



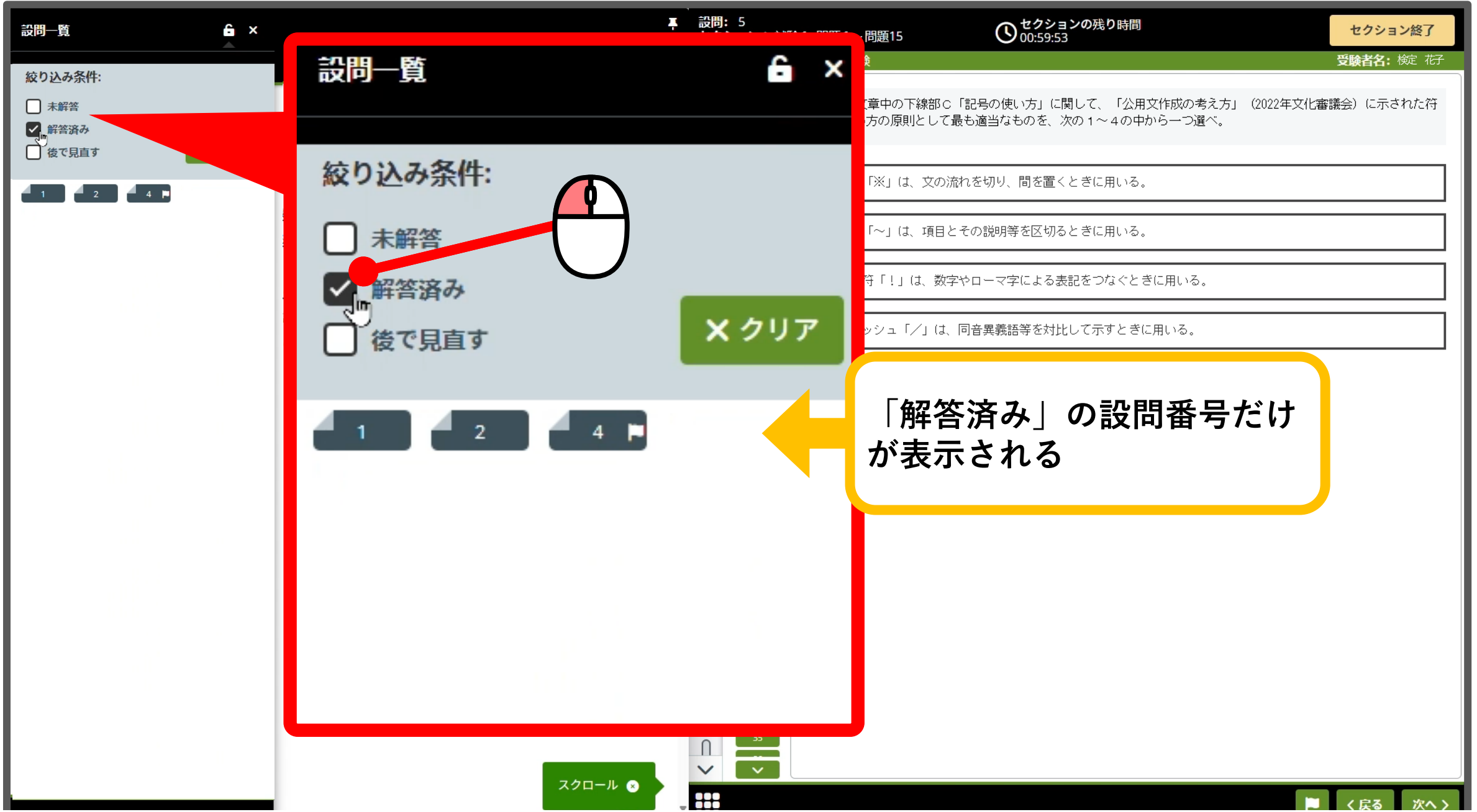
画面下部の「設問一覧」ボタンから「未解答、解答済み、後で見直す」の一覧が見られます。



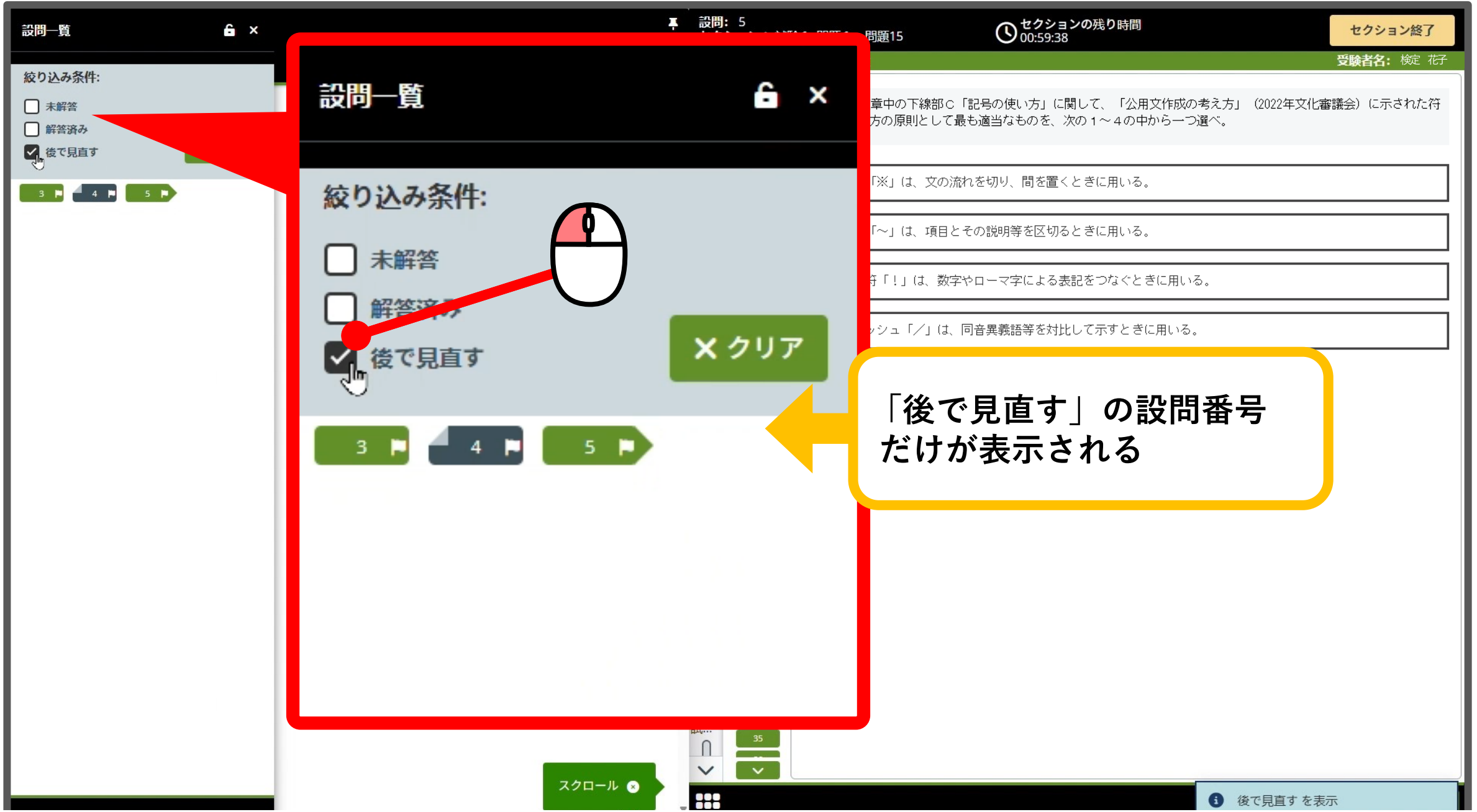
表示される設問は「絞り込み条件」から選ぶことができます。



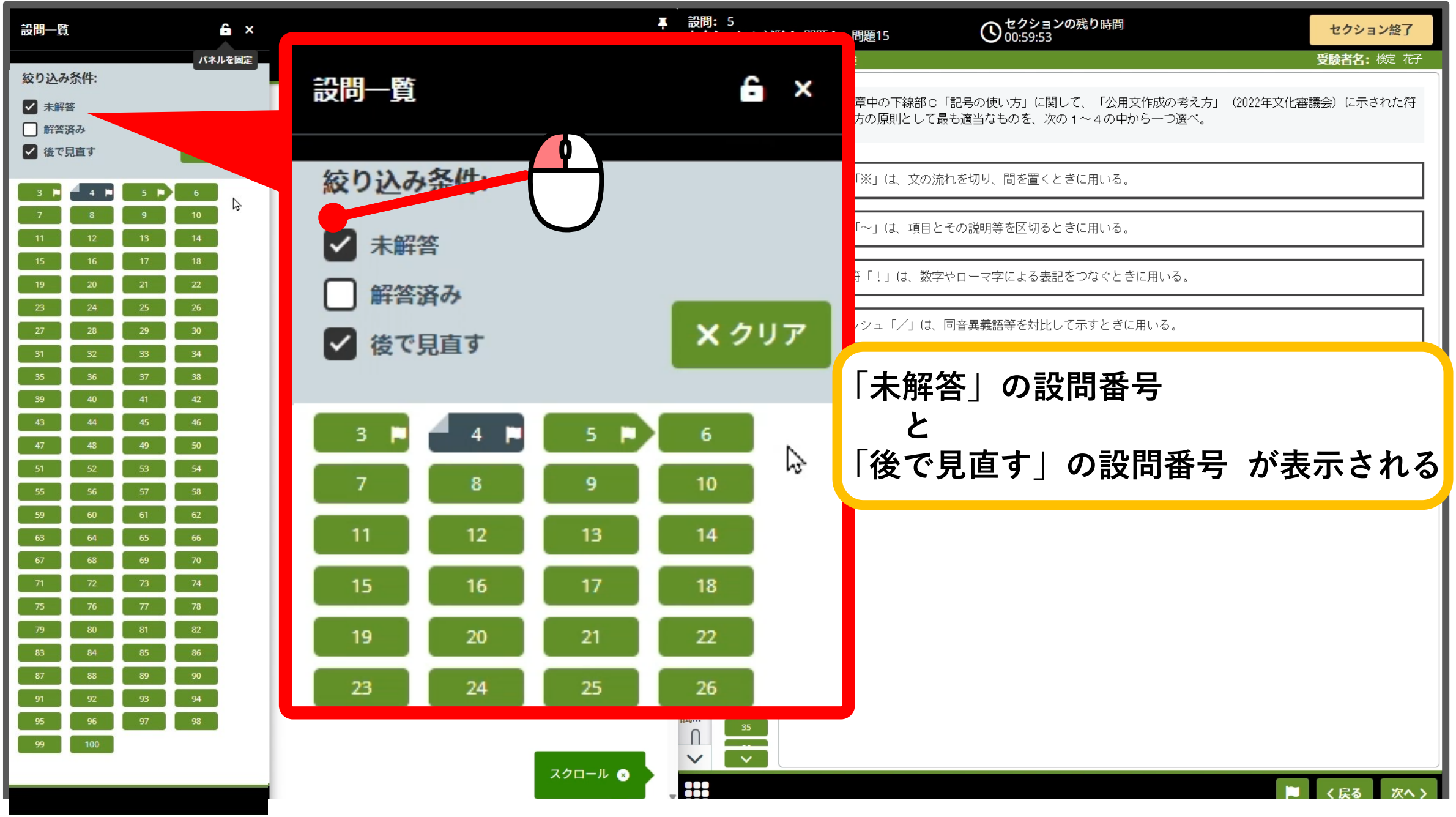
絞り込みたい条件にカーソル(↖)を合わせて左クリックしてください。



絞り込みたい条件にカーソル(↖)を合わせて左クリックしてください。



絞り込みたい条件にカーソル(↖)を合わせて左クリックしてください。

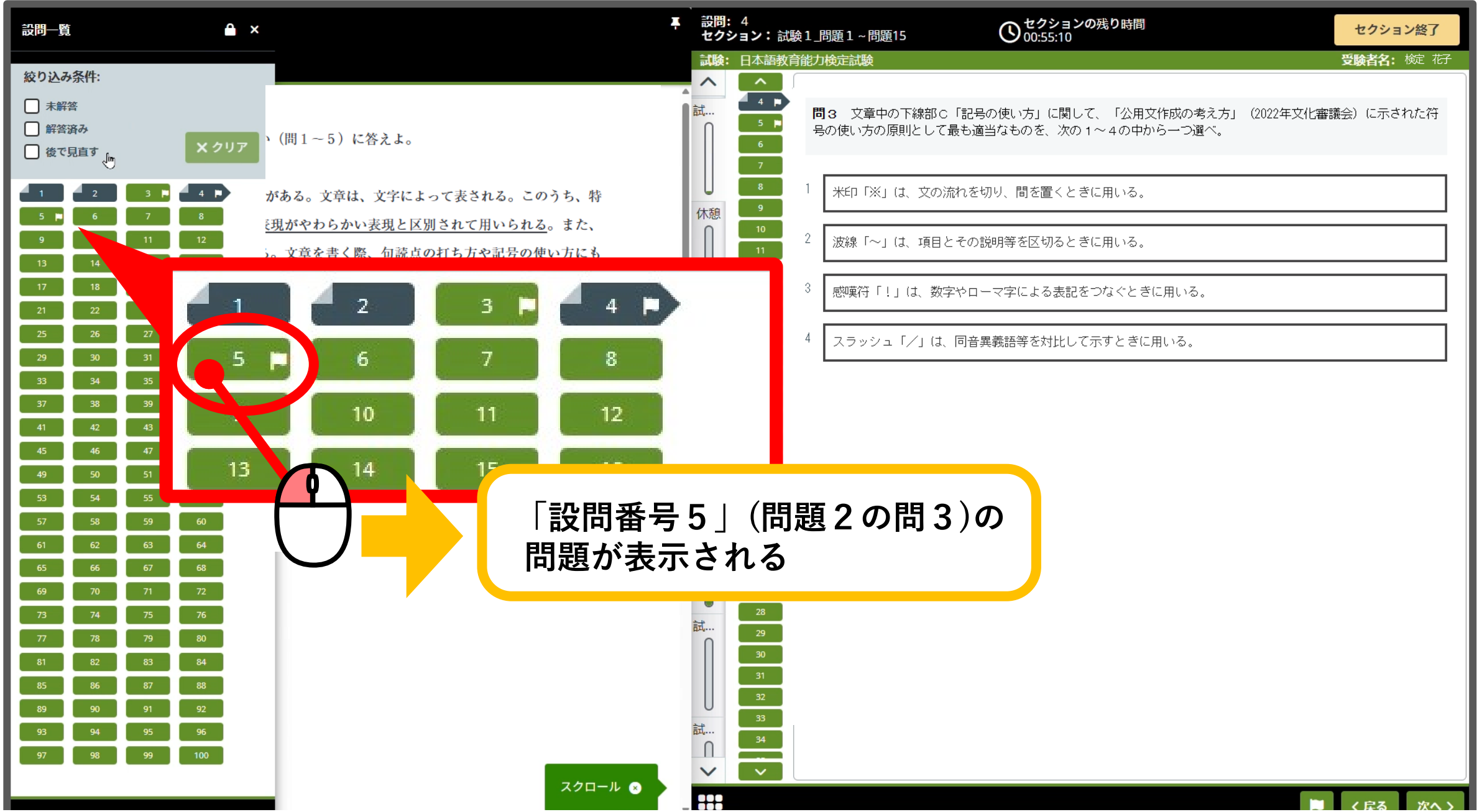


「未解答」の設問番号
と
「後で見直す」の設問番号　が表示される

絞り込みたい条件は、複数選択することもできます。



「設問一覧」を固定したいときは、設問一覧の上部の ボタンにカーソル(↖)を合わせて、左クリックしてください。



「設問一覧」の設問番号ボタンを左クリックすると、該当の問題のページに移動できます。

④ 便利な機能

「残り時間」の表示切替

※試験１、試験２共通



画面の上部の「セクションの残り時間」は「現在のセクションの残り時間」を示していますが、残り時間の部分を左クリックすると「全体の残り時間」を確認することができます。

以上が「**便利な機能**」です。

試験日までによく確認してください。